

NICE - ACTIMIZE

CDD-X

自律型 AML への 移行

CDD-X で次世代の
ステップへ進む

eBook



コンプライアンスコストの増加 が持続可能性に影響を及 ぼしています

コンプライアンスコストは過去数年間で急激に上昇しています。金融サービス組織はさらに高度化されるスキームによる大量の取引に追いつくためにリソースを使い果たしています。

顧客デューデリジェンスプロセスが手作業に依存して、一貫性がなく、顧客およびリスクに関する見解が不明確な場合、今日の規制コンプライアンスを順守することが極めて困難になります。オンボーディング顧客、データ取得・集計および高リスク顧客管理の複雑さがコスト上昇を助長しています。不適切な顧客管理や手作業によるプロセスは、規制当局による調査を増やし、組織の評判を低下させるリスクをもたらし、処罰の可能性を高めます。これらはすべて顧客満足度に悪影響を及ぼします。



多数の金融組織が統一されたアプローチによる金融犯罪リスク管理の確立に努めていますが、それは大変な作業とされます。

ほとんどの場合、人的リソースを増やすことが検討されますが、それは本質的な解決策にはなりません。何が本当の解決策でしょうか？ より多くの人的リソースよりも、技術の進歩を活用することで、人員および金融犯罪&コンプライアンス管理（FCCM）の適切なバランスを達成できます。金融サービス組織には、FCCM 専用システムを提供できるアジャイルなパートナーが必要です。

AML プログラム全体に
費やされる総コストの **60%**
近くが顧客理解 (KYC) / 顧客デ
ューデリジェンス (CDD) プロセス
に割り当てられています。



堅牢な顧客理解 (KYC) / 顧客デューデリジェンス (CDD) が AML プログラムの全体的な不備を将来にわたって防止します。

自律 AML への継続的な移行において、NICE Actimize CDD-X は最新の技術革新でリスク検出範囲を広げます。インテリジェントな自動化、人工知能および機械学習を顧客理解 (KYC) / 顧客デューデリジェンス (CDD) 領域の専門知識と組み合わせることで、運営効率を高めて顧客リスクに重点を置くことができます。これにより、金融サービス機関の顧客関係性を完全に理解できます。

主なメリット



実態 インサイト

Entity Insights™ は、調査を有意味な実態中心のビジュアルストーリーに自動化する最先端の機能です。これにより、調査員の効率を高めることができます。実態とアラートの関係性の可視化および Entity Insights™ ディスプレイの異なるウィジェットに表示される追加のサポートデータにより、より多くのリスクを見つけ出し、より迅速かつ正確な意志決定を行うことができます。

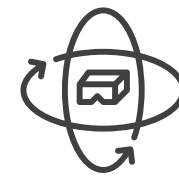
NICE ACTIMIZE





インテリジェント 自動化

金融犯罪調査およびコンプライアンス業務をバーチャルワークホースの実装によって変革できます。この目的に合わせて事前に構成された「ロボット」ライブラリは、金融犯罪およびコンプライアンス環境専用に構築されています。これらの「ロボット」は、データの収集やレポート作成などの調査活動を同じように再現して実際の調査員と連携作業を行います。これにより、時間が節約され、調査員がより付加価値の高い業務に時間を割くことができます。



シミュレ ーション

顧客リスクプロファイルの経時変化に伴うシステム設定の変更をより良く理解できる方法が金融サービス組織に必要とされています。シミュレーション機能により、リスクポリシー設定の調整から当て推量を省き、更新が顧客ポピュレーションやビジネス運営に与える影響をより適切に評価できます。

- 設定変更を実施前に検証
- ビジネス上の関係性に関するリスクポリシー変更の影響を直感的なダッシュボードとレポートで理解
- 人員配置の必要性を正確に予測
- 本番環境でプロセスを実行することで、保守コストが削減され、テスト環境、サードパーティのアプリケーションライセンス、ハードウェア・ソフトウェアのアップデートが不要になります。



顧客プロフィール強化による 顧客リスクスコアの向上

CDD-X は、クラウドベースの分析とデータ主導型の機械学習を活用して、顧客リスクのスコア付けを最適化します。これにより、以前の評価で低レベルに誤って分類された高リスク顧客をよりよく特定でき、不正に高リスクに格付けされている顧客を再分類できます。スコアの使用により、顧客リスク分類の精度が高まり、強化されたデューデリジェンス（EDD）管理を顧客に対して適切に適用できます。インサイトの向上により、はるかに少ないアクションでよりの確に顧客の関係性を管理できます。

NICE が実施した顧客理解（KYC） / 顧客デューデリジェンス（CDD）に対する予算見積もりの調査では、回答者の半数以上が、今後 12～18 ヶ月間で予算が現在と同じまたはそれ以下になると回答しました。回答者は、支出がまったく増えない場合、それは新しい技術がもたらす自動化の恩恵であろうと述べています。



AML リスクを全体的に低減

CDD-X は、自律型 AML ポートフォリオのコアコンポーネントであり、KYC-AML プログラムを全体的に強化します。これにより、取引監視をより良好な顧客リスク属性で補完して、すべての関連口座を統合型ウォッチリストフィルタリングでスクリーニングしてリスクをスコア付けできます。NICE Actimize ActOne ケースマネージメントのパッケージにより、相関性のある一元化されたデータを単一のプラットフォームで表示して、ワークフローを管理し、調査をサポートし、監視を保証する実用的な情報を提供できます。

CDD-X は、より確信的な顧客リスク管理を提供します。最新化された包括的な統合型ソリューションの組み合わせにより、金融犯罪に向き合う金融サービス組織にアジャイルなビジネスをもたらしてコストを削減します。

自律型 AML への移行を開始 >

NICE ACTIMIZE





NICE Actimize について

NICE Actimize は、地域金融機関およびグローバル金融機関、政府規制当局向けに金融犯罪・リスク・規制遵守ソリューションを提供する世界最大規模のプロバイダーです。NICE Actimize の専門家は、各種機関や消費者、投資家の資産を保護するために、革新的な技術を適用し、金融犯罪を識別し、不正を防止し、規制遵守を提供します。支払い詐欺やサイバー犯罪、制裁監視、市場の乱用、顧客デューデリジェンス、インサイダー取引などの懸念事項に対処するためのクロスチャネルによる不正防止、アンチマネーロンダリング検出、取引監視のリアルタイム・ソリューションを提供します。

© Copyright 2019 Actimize Inc. All rights reserved.

www.niceactimize.com